

## はじめに

読解とは異なり、作文では文の隅々にまで気を配る必要があります。例えば次の文は斜体字の部分がなくても「私は髪を洗う」と解釈できますが、作文ではすべて正しく書き表わさなければなりません: Ich wasche mir die Haare. 作文がことばの学習手段として優れているのはそのためです。ドイツ語を学ぼうとする皆さんにできるだけ多くの作文練習をしていただけるよう、本書を作りました。書名のとおり全部で 400 題あります。

作文は効果的なのは確かですが、骨の折れる練習もあります。その負担ができる限り減らすためにたくさんのヒントを用意しています。この作文練習を通じて、ドイツ語で表現することの面白さを感じ取っていただければ幸いです。

## 問題の構成

各課の始めの 10 題は、課のタイトルの文法事項を習っていれば答えられる問題です。その文法事項を学んだらすぐに作文練習に取り掛かれます。第 11 題以降は、その他の文法事項を含んでいますので、初級文法をひととおり習ってから、その知識を総合的に運用する力を試すのに向いていますが、豊富なヒントにより、初級文法の途中からチャレンジすることも十分可能です。

各問題の最初には日本語文が示されます。この内容をドイツ語で表現してください。そこで必要となる単語（参考になる表現を含む）が次に示されます（電球マーク）。これらの単語は、組み立てようとするドイツ語文の語順で並んでいます。ただし動詞だけは例外で、その位置は皆さん自身で決めてください。単語の欄の下には、目指すドイツ語文を直訳したような日本語文が示されます（本のマーク）。構文の参考にしてください。

## 文法上のヒント

単語にはさまざまな文法上のヒントが付いています。いくつか下に例示します。

ケーキ der Kuchen, - [定(目の前にある)]	定冠詞を付けよ; ( ) 内はその理由
鉛筆 der Bleistift, -e [不(どの鉛筆でもよい)]	不定冠詞を付けよ
医者 der Arzt, Ärzte [無(職業)]	無冠詞で用いよ
ホテル das Hotel, -s [否(ein Hotel の否定)]	否定冠詞を付けよ
名前 der Name, -n [所]	所有冠詞を付けよ
道路 die Straße, -n [定・複(すべての道路)]	(定冠詞付きの)複数形にせよ; 複数語尾は -n
人々 Leute [不特定の複数; 名詞に冠詞はない]	付けるべき冠詞がそもそもない
…に尋ねる … <sup>4</sup> fragen	4 格形を用いよ
持っている haben* [hatte – gehabt; 過去(状態)]	不規則変化動詞(*)の過去基本形と過去分詞; 過去形にせよ
見る sehen* [sah – gesehen; 現在完了(経験)]	現在完了形にせよ
落ちる fallen* [fiel – gefallen (s)]	完了の助動詞には sein を用いよ

…になる werden* [+wollen* (したいと思う)]	助動詞を加えよ
必要がない nicht brauchen [+zu 不定詞句]	zu 不定詞句を加えよ
この dies.. [定冠詞と同類の語尾]	表 1 参照
一番近い nächst [形容詞語尾を付ける]	表 2 参照
夏 der Sommer, - [定(一年に一つ); 前置詞と融合]	定冠詞を前置詞に融合せよ; 表 6 参照

## 本書の生い立ち

福山・山口・シュタインベルグの三氏は新しい作文教科書を作ろうと考えていたようです。私がまだ三氏にドイツ語を教わっていたころの話です。その後、その作文練習の素材となるドイツ語文が書きとめられた数百枚のカードが見つかりました。このカードを譲り受けてから、再び長い年月が過ぎました。その間、少しずつ起点となる日本語文を考え、ヒントを加え、教材としての形を整えていたところ、朝日出版社が教科書として刊行することを承諾してください、今回出版される運びとなりました。本書の企画を最初にお聞きください、出版にまでこぎ着けてくださった朝日出版社の日暮みざわ様と、その後を引き継いで編集作業でお世話をいただいた中山耀斗様に心より感謝申しあげます。なお、本書は、同じく朝日出版社刊、国松・福山・シュタインベルグ著『簡単なドイツ文法』を手本としており、同書なくして本書の誕生はありえなかつたことを申し添えます。

2014 年 10 月、成田 記

## 目 次

第 1 課 無冠詞 .....	2
(不定冠詞付きで用いられることがある名詞が無冠詞になる場合と、そもそも不定冠詞付きでは用いられないために冠詞が付かない場合とがある)	
第 2 課 不定冠詞 .....	6
(名詞が表す人や物がいくつかあるうちの一つであることを表す場合、名詞に不定冠詞を付ける)	
第 3 課 定冠詞 .....	10
(名詞が表す人や物がある範囲に一つしかない場合、名詞に定冠詞を付ける。複数名詞に定冠詞を付けるとその範囲のそれらすべてを表す)	
第 4 課 所有冠詞 .....	14
(名詞が表す人や物が誰かのものであったり誰かと密な関係にある場合、その「誰か」を表す所有冠詞を名詞に付ける)	
第 5 課 分離動詞 .....	18
(前つづり+基礎動詞から成る。単純な平叙文では基礎動詞を定動詞として2番目に、前つづりを文末に置く)	
第 6 課 再帰動詞 .....	23
(主語と同じ人や物を目的語とすることによって独自の行為を表す動詞をいう。目的語に再帰代名詞を用いる)	
第 7 課 話法の助動詞 .....	28
(主語が表す人や物が本動詞の表す行為に対してどのような状況や様態にあるかを示す(可能、欲求など)。単純な平叙文では話法の助動詞を定動詞として2番目に、本動詞を不定詞の形で文末に置く)	
第 8 課 受動 .....	33
(行為を受ける人や物を主語として表す。単純な平叙文では受動の助動詞を定動詞として2番目に、本動詞を過去分詞の形で文末に置く。動作受動(助動詞は <i>werden</i> <sup>*</sup> )は「される」ことを、状態受動(助動詞は <i>sein</i> <sup>*</sup> )は「された状態にある」ことを表す)	
第 9 課 現在完了 .....	38
(結果や経験など現在に影響が残る過去の事象を表す。単純な平叙文では完了の助動詞を定動詞として2番目に、本動詞を過去分詞の形で文末に置く。位置・状態の変化を表す自動詞の完了の助動詞は <i>sein</i> <sup>*</sup> 、その他は <i>haben</i> <sup>*</sup> )	
第 10 課 過去 .....	43
(過去における状態や様子を表す)	
第 11 課 zu 不定詞句 .....	48
(不定詞の前に <i>zu</i> を付ける。補足成分はその前に置く。名詞的な働きをする)	
第 12 課 比較 .....	53
(比較の対象は <i>als ...</i> で表す。最上級を述語的に用いる場合は <i>am ..sten</i> とする)	
第 13 課 従属文 .....	57
(従属接続詞・関係詞等に導かれる文。定動詞を文末に置く)	
第 14 課 過去完了 .....	62
(過去の事象に関連するさらに過去の事象を表す)	
第 15 課 関係文 .....	67
(関係代名詞の格は関係文中の役割による。先行詞がある場合、関係代名詞の性と数をそれに合わせる)	

## 第 16 課 接続法 . . . . . 72

(他者の主張の真偽の判断を留保する場合に接続法第 1 式を、非現実の内容を表す場合に接続法第 2 式を用いる)

表 1. 定冠詞と同類の語尾 . . . . .	22
表 2. 形容詞語尾 . . . . .	27
表 3. 話法の助動詞（現在形） . . . . .	32
表 4. 不規則動詞（現在形）の例示 . . . . .	37
表 5. 動詞の 3 基本形の例示 . . . . .	42
表 6. 前置詞と定冠詞の融合形 . . . . .	61
表 7. 関係代名詞 . . . . .	71

## 1. 動物の中には冬眠するものがあります。

いくつかの manch.. [定冠詞と同類の語尾] 動物 das Tier, -e [不特定の複数名詞に冠詞はない] 寝る Mittagsschlaf halten\* 冬眠 der Winterschlaf [不特定の抽象名詞に冠詞はない]

いくつかの動物は冬眠をする。

## 2. 「ご専攻は何ですか。」「ロマンス系語学文学と歴史です。」

何を was 大学で勉強している studieren ロマンス系語学文学 die Romanistik [不特定の抽象名詞に冠詞はない] 歴史 die Geschichte, -n [同左]

„何をあなたは大学で勉強しているか？“ — „私はロマンス系語学文学と歴史を大学で勉強している。“

## 3. 彼はビールもワインも飲まない。飲むのは牛乳だけだ。

飲む trinken\* …も…もない weder ... noch ... ビール das Bier [不特定の物質名詞に冠詞はない] ワイン der Wein [同左] …ではなく… (否定), sondern ... ただ…のみ nur 牛乳 die Milch [Bier 参照]

彼はビールをもワインをも飲まず、ただ牛乳のみを。

## 4. 「凝乳はどちらを作るの。」「牛乳からよ。」

…(原料)から aus ...<sup>3</sup> 何 was [aus was を書き換える woraus とする] 作る machen 人は man 凝乳(牛乳に酵素を加えて凝固させたもの) der Quark [不特定の物質名詞に冠詞はない] 牛乳 die Milch [同左]

„どちら人は凝乳を作るか？“ — „牛乳から。“

## 5. ふたコマ英語の授業をした後は、いつもくたくたです。

…の後で nach ...<sup>3</sup> 二杯の紅茶 zwei Tassen Tee 二時間相当の授業時間 die Doppelstunde, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] 英語の授業 der Englischunterricht [不特定の抽象名詞に冠詞はない] 疲れ果てている erschöpft sein\* いつも immer かなり ziemlich

ふたつの二時間相当の授業時間の英語の授業の後で私はいつもかなり疲れ果てている。

## 6. 若い女の子向けの雑誌には、お化粧の仕方がたくさん載っています。

…の中で(へ) in ...<sup>3(4)</sup> 雑誌 die Zeitschrift, -en [不特定の複数名詞に冠詞はない] …のために für ...<sup>4</sup> 若い jung [形容詞語尾を付ける] 女の子 das Mädchen, - [Zeitschrift 参照] 載っている stehen\* 多く viel [このまま名詞的に] …に関して über ...<sup>4</sup> 化粧法 die Kosmetik [不特定の抽象名詞に冠詞はない]

若い女の子たちのための雑誌の中に多くが化粧法に関して載っている。

## 7. 彼はもう二、三日前から高い熱を出して寝込んでいます。

ベッドに伏している zu Bett liegen\* すでに schon …来 seit ...<sup>3</sup> 二三の ein paar [無変化] 曰 der Tag, -e [不特定の複数名詞に冠詞はない; 名詞複数 3 格の語尾を付ける] …で mit ...<sup>3</sup> 彼は高い熱がある。Er hat hohes Fieber<sup>4</sup>.

彼はすでに二三日来高い熱でベッドに伏している。

## 8. ふたつ教会がある村がたくさんあります。一つがカソリックのでもう一つがプロテスタントのです。

…の中で(へ) in ...<sup>3(4)</sup> 多くの viel [形容詞語尾を付ける] 村 das Dorf, Dörfer [不特定の複数名詞に冠詞はない]

ない; 名詞複数 3 格の語尾を付ける] …が存在する es gibt ...<sup>4</sup> 教会 die Kirche, -n [Dorf 参照] 一つ eine<sup>4</sup> [不定代名詞; 男性 1 格が einer, 中性 1 格と 4 格が eines, 残りは不定冠詞と同じ形] …のために für ...<sup>4</sup> カトリック教徒 der Katholik, -en [Dorf 参照] プロテスタント教徒 der Protestant, -en [同左]

多くの村の中でふたつの教会が存在する, 一つはカトリック教徒たちのために そして一つはプロテスタント教徒たちのために.

9. 「晩は何を召し上がりますか。」「黒パンを二枚、バターを塗ってソーセージかチーズを載せます。それと目玉焼き二つです。」

何を was 食べる essen\* 晩に zu Abend ビールを二本 zwei Flaschen Bier<sup>4</sup> 枚 die Scheibe, -n 黒パン das Graubrot [不特定の物質名詞に冠詞はない] …とともに mit ...<sup>3</sup> バター die Butter [Graubrot 参照] ソーセージ die Wurst [同左] または oder チーズ der Käse [Graubrot 参照] 目玉焼き das Spiegelei, ..eier [不特定の複数名詞に冠詞はない]

„何をあなたは晩に食べるか?“ — „二枚の黒パンをバターとソーセージまたはチーズとともに そして二つの目玉焼きを.“

10. 「それどこに書いてある?」「第 II 卷、17 ページの 1 行目から 3 行目に書いてあるよ。」

どこに wo 書いてある stehn\* そのことが das …の中で(へ) in ...<sup>3(4)</sup> 第 II 卷 Band II (zwei) [Band は無冠詞(記号)] …の上で(へ) auf ...<sup>3(4)</sup> 17 ページ Seite 17 (siebzehn) [Band 参照] …の中で(へ) [上記参照] 1 行目 Zeile 1 [Band 参照] …から…まで ... bis ... 3 drei

„どこにそれは書いてあるか?“ — „それは第 II 卷の中に 17 ページ上に 1 行目から 3 行目までの間に書いてある。“

---

11. 復活祭には復活祭のうさぎが子供たちに復活祭の卵を持ってきてくれます。

クリスマスに zu Weihnachten 復活祭 Ostern, - [複; ふつう無冠詞] …に…を持っていく ...<sup>3</sup> ...<sup>4</sup> bringen\* 復活祭のうさぎ der Osterhase, -n [定(唯一無二の存在)] 子供 das Kind, -er [定・複(自分の子供達や周囲の子供達すべて)] 復活祭の卵 das Osterei, -er [不特定の複数名詞に冠詞はない]

復活祭に復活祭のうさぎが子供たちに復活祭の卵を持っていく.

12. 温泉は今日では入浴だけでなく、暖房にも使われます。

熱い heiß [形容詞語尾を付ける] 湧水 die Quelle, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] 役立つ dienen 今日 heute …だけでなく…も nicht nur ..., sondern auch ... …のために zu ...<sup>3</sup> 入浴する baden [頭文字を大文字にして中性名詞として用いる; 定(「入浴する」という行為の一般化); 前置詞と融合] 暖房する heizen [baden 参照]

熱い湧水は今日入浴のためにだけでなく、暖房のためにも役立つ.

13. ひとコマは 90 分ですが、遅く来て、7、80 分しか授業をしない先生がたくさんいます。

一つの ein [数詞(変化形は不定冠詞と同じ)] 二時間相当の授業時間 die Doppelstunde, -n 持続する dauern 90 neunzig 分 die Minute, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] 多くの viel [形容詞語尾を付ける] 教授 der Professor, -en [Minute 参照] 来る kommen\* 早すぎる zu früh 遅い spät 授業をする Unterricht geben\* ただ…のみ nur 70 siebzig または oder 80 achtzig

一つの二時間相当の授業時間は 90 分持続する、しかし多くの教授達は遅すぎて来る そしてただ 70 または 80 分のみ授業をする.

14. 瓶ビールより樽出しのビールの方が好きです。それに、たいていのレストランでその方が割安です。

■ ビール das Bier [不特定の物質名詞に冠詞はない] 樽から vom Fass 飲む trinken\* 好んで gerne [比較級: lieber – 最高級: am liebsten] …より als … 瓶ビール das Flaschenbier [Bier 参照] その上 außerdem それ es …の中で(へ) in …<sup>3(4)</sup> たいていの meist [形容詞語尾を付ける] レストラン das Restaurant, -s [定(最高級が付加される)・複] 少し etwas 安い billig [比較級: ..er – 最高級: ..st]

■ 樽からのビールを私はより好んで飲む [枠外:] 瓶ビールより、その上それはたいていのレストランの中で少し安い。

## 15. 高等学校の修了試験をドイツではアビトゥーアと言いますが、オーストリアではマトゥーラと言います。

■ 修了試験 die Abschlussprüfung, -en [定(卒業前に必ずある)] 高等学校 die Oberschule, -n [定(学校の種類)] …を…と名づける … als … bezeichnen 人は man …の中で(へ) in …<sup>3(4)</sup> ドイツ Deutschland アビトゥーア das Abitur [不特定の抽象名詞に冠詞はない] オーストリア Österreich しかしながら jedoch マトゥーラ die Matura [Abitur 参照]

■ 高等学校の修了試験を人はドイツの中でアビトゥーアと名づける、オーストリアの中ではしかしながらマトゥーラと。

## 16. 車がなければ運転免許など電話なしの電話帳よりさらに使い道がありません。というのも電話帳なら住所を調べることもできますから。

■ …なしで ohne …<sup>4</sup> 自動車 das Auto, -s [無(具体的な存在ではない)] …の役に立つ …<sup>3</sup> nützen 人 man [eines<sup>2</sup>, einem<sup>3</sup>, einen<sup>4</sup>; なるべく前に置く] 運転免許証 der Führerschein, -e [不(どんな運転免許証でもよい)] サンマリノは小さいけど、モナコの方がもっと小さいよ San Marino ist klein, aber Monaco ist noch kleiner. 少ない wenig [比較級: ..er – 最高級: ..st] …より als … 電話帳 das Telefonbuch, ..bücher [不(どんな電話帳でもよい)] 電話 das Telefon, -e [Auto 参照] というのも…だから denn [語順に数えない] …の中で(へ) in …<sup>3(4)</sup> 電話帳 [定(一家に一冊); 前置詞と融合] 調べる nachschlagen\* [+können\* (できる)] …も auch 住所 die Adresse, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない]

■ 自動車なしで人に運転免許証はさらに少なく役に立つ [枠外:] 電話帳が電話なしであり、というのも電話帳の中で人は住所をも調べることができるから。

## 17. 機関車の運転士か消防士になりたいという男の子が多い。

■ 多くの viel [形容詞語尾を付ける] 男の子 der Junge, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] なる werden\* [+wollen\* (したがる)] …か…かのどちらか entweder … oder … 機関車の運転士 der Lokomotivführer, - [無(職業)] 消防士 der Feuerwehrmann, ..männer [同左]

■ 多くの男の子たちは機関車の運転士か消防士かのどちらかになりたがる。

## 18. 「まだお腹すいてる?」「いや、もういっぱいだ。じゅうぶん食べたよ。」

■ 私は空腹だ。Ich habe Hunger. まだ noch 君は満腹か Bist du satt? すでに schon 食べる essen\* [aß – gegessen; 現在完了(満足している)] じゅうぶん genug

■ „君はまだ空腹か。“ – „いいえ、私はすでに満腹だ; 私はじゅうぶん食べた。“

## 19. あの子が虫歯だらけになったのは、甘いものの食べすぎのせいです。

■ 彼女 sie 持っている haben\* とても sehr 悪い schlecht [形容詞語尾を付ける] 歯 der Zahn, Zähne [不特定の複数名詞に冠詞はない] …するので weil … [従属文: 定動詞は文末] 食べる essen\* 過度に zu 多量の viel [無語尾(量)] 甘いもの die Süßigkeit, -en [Zahn 参照]

■ 彼女はとても悪い歯を持っている, [従属文:] 彼女は過度に多量の甘いものを食べるので。

## 20. うんとお腹が減っていれば、何でもおいしく感じます。

💡 …ならば wenn ... [従属文: 定動詞は文末] 人 man [eines<sup>2</sup>, einem<sup>3</sup>, einen<sup>4</sup>] 大きな groß [形容詞語尾を付ける] 空腹 der Hunger [不特定の抽象名詞に冠詞はない] …が…にとって美味である ...! schmeckt ...<sup>3</sup>. 人 [なるべく前] すべてが alles<sup>1</sup>

📖 [従属文:] 人が大きな空腹を持っているならば、人にとてすべてが美味である。

## 21. 名刺はとても便利だと思います。名前は聞いただけでは間違うことが多いですから。

💡 私は彼女をとても優しいと思います Ich finde sie sehr nett. 名刺 die Visitenkarte, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] とても sehr 便利な praktisch というのも…だから denn [語順に数えない] 名前 der Name, -n [Visitenkarte 参照] 理解する verstehen\* 人は man しばしば oft 誤って falsch …する場合 wenn ... [従属文: 定動詞は文末] 聞く hören ただ…だけ nur

📖 私は名刺をとても便利だと思う、というのも名前を人はしばしば誤って理解する、[従属文:] 人がそれらをただ聞く場合。

## 22. 市電の定期は持っていないません。天気のいい時はたいてい歩きますから。

💡 持っている haben\* 定期券 die Zeitkarte, -n [否(eine Zeitkarte の否定)] …のために für ...<sup>4</sup> 路面電車 die Straßenbahn, -en [定(よく使う市電)] …するので weil ... [従属文: 定動詞は文末] 徒歩で行く zu Fuß gehen\* …のもとで bei ...<sup>3</sup> いい天気です Es ist gutes Wetter<sup>1</sup>. たいてい meist

📖 私は市電のための定期券を持っていない、[従属文:] 私はよい天気のもとでたいてい徒歩で行くので。

## 23. 飛行機で行けば時間の節約になるが、鉄道の旅の方が味わいがある。飛行機からは雲しか見えないことが多いのだから。

💡 …するなら wenn ... [従属文: 定動詞は文末] 人は man 飛行機で行く fliegen\* 節約する sparen [können\* を用いない(実際にそうなる)] 時間 die Zeit [不特定の抽象名詞に冠詞はない] (乗り物に乗って)行く fahren\* 車で mit dem Auto 鉄道 die Bahn, -en [定(交通手段の種類)] 持つ haben\* 多く viel [比較級: mehr – 最高級: meist] …から von ...<sup>3</sup> 旅 die Reise, -n [定(ここで想定される旅)] というのも…だから denn [語順に数えない] …の中から外に向かって von ...<sup>3</sup> aus 飛行機 das Flugzeug, -e [定(交通手段の種類); 前置詞と融合] 見る sehen\* [können\* を用いない(実際にそうなる)] しばしば oft ただ…のみ nur 雲 die Wolke, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない]

📖 [従属文:] 人が飛行機で行くなら、人は時間を節約する、しかし人が鉄道で行くなら、人はより多くの旅から持つ、というのも飛行機の中から外に向かって人はしばしばただ雲のみを見るから。

## 24. 彼は睡眠薬がないと寝付けないと言う。

💡 …と言い張る behaupten …ということ dass ... [従属文: 定動詞は文末] …なしで ohne ...<sup>4</sup> 睡眠薬 die Schlaftablette, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] 寝入る einschlafen\* [+können\*(できる)]

📖 彼は言い張る、[従属文:] 彼は睡眠薬なしで寝入ることができないということを。

## 25. ジャガイもは水分をたいへん多く含んでいますから、ドイツでは昼食の時に何も飲む必要がありません。

💡 当然のことながら…なので da ... [従属文: 定動詞は文末] ジャガイも die Kartoffel, -n [不特定の複数名詞に冠詞はない] 含む enthalten\* とても sehr 多量の viel [無語尾(量)] 水 das Wasser [不特定の物質名詞に冠詞はない] 必要がない nicht brauchen [+zu 不定詞句] 人は man …の中で(へ) in ...<sup>(4)</sup> ドイツ Deutschland 朝食に zum Frühstück 昼食 das Mittagessen 何も…ない nichts 飲む trinken\*

📖 [従属文:] 当然のことながらジャガイもはとても多量の水を含んでいるので、人はドイツの中で昼食に何も飲む必要がない。